

平成 28 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
IT ストラテジストには、経営戦略の実現に向けて、事業の制約などを考慮して、情報技術を活用した事業戦略、情報システム戦略及び情報システム化計画を策定する能力が求められる。	
本問では、大学の法人化と統合に起因した、業務及び情報システムの統合を題材として、業務及び情報システムの統合計画策定に関する能力を評価する。具体的には、統合計画の実施に向けた準備事項、統合計画で考慮すべきこと、統合計画の検討体制の見直しの理由を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 新法人の財務諸表と各大学の勘定科目、予算科目間の対応	
	(2) 学部 LAN の詳細な NW 構成情報	
	(3) 研究用 LAN の運用方法	
設問 2	(1) 人事給与システムの人事情報	
	(2) A 大学の臨時職員や非常勤講師の電子メールアカウントを適時に発行できない。	
	(3) 業務が統一されず、教務情報や学納金の管理業務が複雑になる。	
設問 3	業務手順の検討には、情報システム部門以外の事務局の職員の参加が必要だから	

問 2

出題趣旨	
IT ストラテジストには、対象となる事業・業務を調査し、個別システム化構想を策定し、実施結果を評価する能力が求められる。	
本問では、地域医療情報連携システムを題材として、業務の課題を抽出し、解決案を策定する能力を評価する。具体的には、地域医療情報連携システムを活用することによって改善できることの検討、医療・事業者情報共有サーバによる情報の共有と業務負担軽減の検討、地域医療情報連携システムを運用する法人における医療機関などの拡大時への対応とサービス料金の検討について、それぞれ問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 検査機器の稼働率が向上する。	
	(2) ① ・治療中の病状 ② ・処方された薬	
設問 2	(1) 担当する訪問スタッフが集まらなくても、患者の日常の状態を確認できる。	
	(2) 事業者が蓄積する訪問記録を共有サーバに反映する機能	
設問 3	(1) 検討内容 所見の記述方法の統一	
	留意点 中核総合病院の支援を得ること	
	(2) 5 年後に実施予定のシステム更新費用	

問3

出題趣旨		
IT ストラテジストには、情報技術を活用して業務プロセスを改革し、既存のサービスの付加価値を向上させ、収益拡大に貢献する能力が求められる。 本問では、装置メーカーの業務プロセス改革を題材として、現状の課題から、業務プロセス改革の方針を設定し、アクションプランに落とし込み、新たな業務プロセス、情報システムの設計を企画する能力を評価する。具体的には、現状の業務プロセスの課題抽出能力、課題を構成する要素を特定するための情報分析能力、課題を解決するための問題解決能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	(1)	顧客の装置に関する情報	
	(2)	・顧客の今後の設備投資計画 ・顧客からの装置に関する問合せや改修に対する見積依頼の内容	
	(3)	装置の稼働開始時期	
設問2	(1)	技術やノウハウの継承を支援すること	
	(2)	装置の保守状況に関する情報を一元管理すること	
	(3)	他の装置メーカーの装置の図面や使っている機器の仕様	
設問3	(1)	運転状況のデータを蓄積・分析して故障発生箇所や時期を予測する機能	
	(2)	故障による装置の停止のリスクを回避できること	

問4

出題趣旨		
IT ストラテジストには、社会の状況と自社の保有技術を基に、将来性を見込める事業を想定した新製品、新システムを企画する能力、さらにはどのような市場展開を狙うかといった戦略を立案する能力が求められる。 本問では、計測機器メーカーにおける新システムの企画を題材に、社会の状況と自社の保有技術を整理する能力、それを基に新製品と新システムを企画する能力、有効なシステム化方法を検討する能力、戦略的な市場展開を企画・立案する能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	得られた情報は、社会インフラを管理・所管する者同士で共有できる。		
設問2	(1)	バルブの10年ごとの定期点検に合わせバッテリーを交換できるから	
	(2)	バルブに振動センサを組み込んだ新製品を共同開発する。	
	(3)	他社が開発した機能、装置の情報を活用した事業の経験がない。	
設問3	(1)	グローバルな市場への展開	
	(2)	振動センサ信号の変化を基に、破壊に至る前の変化を検出する技術	
	(3)	各埋設管の配置を示す3次元情報を基に自動で工事する技術	